

Y04a 天文学講演におけるアンケート自由記述欄に関するテキスト分析

京都情報大学院大学, 京都大学天文台天文普及プロジェクト室

科学コミュニケーション活動として、発表者は京都千年天文学街道アストロトークを運営している。アストロトークは2011年から1年に4-5回の頻度で開催する講演で、通常講演に加え、国立天文台4D2Uプロジェクト提供のMitakaと京都大学天文台が独自に製作した天体3D映像「Kyoto4D」を組み合わせた立体視による講演からなるイベントである。アストロトークでは、イベント内容やプロモーション方法の改善などを目的として、選択式と自由記述式からなるアンケートを毎回とっている。これまでの、のべ開催数36回に対する参加者数1243名のうち、約7割からアンケートの回答を得ており、アンケートの自由記述欄に参加者が記述した文章のテキスト分析結果の紹介が本発表の内容である。自由記述欄の分析は、目につきやすい記述が分析者にとって印象づけられ、客観的分析が容易ではないが、近年のアンケート分析の手法の発達により、自由記述欄に記述された文章を計量的に扱い、ある程度客観的に分析できるようになってきた。今回は、アストロトークで得たアンケートデータの自由記述欄を分析対象として、樋口耕一氏が開発している計量テキスト分析ツール [KH Coder] を用いてテキスト分析を行った結果を発表する。分析対象とした自由記述設問は、「今回印象に残った事は何ですか？」と「天文に関して、どんなことが聞きたいですか？」である。前者の設問に対する回答の分析から、講演者の狙い通りに講演のテーマやトピックが参加者へ印象づけられたことを、共起ネットワークなどを用いて確認することができた。また、立体視による講演が強く印象づけられたことも分析から見て取ることができた。また後者の設問に対する回答については、日食などの天体现象や重力波などの発見にともない、これらのキーワードのアンケート上での記述が、注目度が高い年度に出現しやすい傾向にあることを、対応分析などによって確認することができた。